

阿波國 すきま 漫遊記

— 関東からの転入者による徳島再発見 —
VOL.11 石風呂



■石井町・利包の石風呂

石風呂は右の小屋の中に保存されている。奈良時代の僧行基が石井を訪れたときに作り方を教えたという伝説がある。寺は現在は無住だが、石風呂は代々の庵主が管理運営してきたという。小屋と庵のあいだの戸の先には井戸が残っている。入浴客はそこで風呂で火照った体を冷やしたり、煤の汚れを落としたりした。

石風呂とは

「石風呂」とは、焚き火で加熱した石室（いしむろ）に入って熱気を浴びるまで言うサウナである。「風呂」という言葉は「窪」から転じたとも言われており、石風呂は風呂の古い様式なのだ。他県では現在でも入浴できる石風呂があるが、残念ながら県内の石風呂はすべて遺構だ。今回は県内に残る石風呂を訪ねてみたいと思う。

石井町・利包の石風呂

前山のふもと、薬師庵という寺の境内にある。昭和四五年ごろまで営業していたといい、実際に風呂に入ったという人の話を聞くことができる。利包の石風呂では、風呂を焚くときは松葉を使い、ひと抱えもある松の枝の束を二〇回ほどくべたという。十分に加熱できたら残り火を掻き出し、こもを敷き、海水を打って内部を蒸し風呂状態にしたという。このように海水や海藻、葉草を使って加温するタイプの石風呂を「藻風呂」とも言う。



▲利包の石風呂内部

一度に5～6人が入れた。入るときは綿入れを着て、頭には防空ずきんのようなものをかぶり、手袋、足袋を付けたという。壁に触れると火傷をするからだ。ずきんなどは入浴者が持参したそう。

▲利包の石風呂外観

元々はもっと簡素な屋根が掛けられていたが、あるいは露天だったろう。炭焼き窯と似ているが、できているのに対して、石風呂は天井が石になっているので区別できる。

徳島市大原町・籠の藻風呂
論田町のスーパー銭湯えびすの湯のエントランスにこの史跡の説明が書かれているので名前を知っている人も多いだろう。江戸時代、勝浦川河口に『籠の御茶屋』という蜂須賀家の別荘があり、そこに『籠の藻風呂』と呼ばれた有名な石風呂があった。かつては

大名も石風呂を楽しんだのだ。



▲籠の御茶屋跡

籠の御茶屋は維新後は民間に払い下げられ湯治場として営業した。阪神方面からも客が訪れたという。昭和15年あるいは19年まで営業していたというが、いまは竹林になっている。



▲籠の藻風呂

籠の藻風呂の痕跡はいまでもはっきりと確認できる。実は徳島市内には10ヶ所以上の藻風呂があったという文献もあるのだが、私が痕跡を確認できたのはここだけだ。

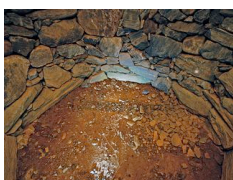
吉野川市川島町桑村の石風呂

長楽寺という寺の門前を過ぎ、東へ三〇〇mほどいった道ばたにある。このあたりの字は風呂谷という。県内で風呂谷とか石風呂という地名は、たいていむかし石風呂があった場所だ。



▲桑村の石風呂外観

もとは右に見える道のあたりにあったのを道の拡幅で移動したという。風呂の前の板碑は天明三年の銘があり、弘法大師が一夜で建立したものであるといういわれが書かれている。



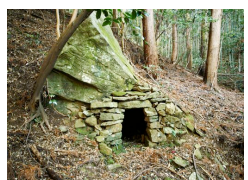
▲桑村の石風呂内部

桑村の石風呂は、一見すると古墳を再利用しているようにも見える。だが内部に入ってみると、平面がほぼ円形になっているので、これは初めから石風呂として作られたものだろうと思う。

小松島市柳瀬町の石風呂

柳瀬八幡神社の南東六〇〇m、羽ノ浦山系の北面に二万五千平方メートルの地形図ではわからない小さな貯水池があり、その奥の竹林の中にある。石風呂を構造的に分類すると、平地に土盛りをして作るカマトタイプと、

崖を掘った洞窟タイプの二種類に分けられるのだが、柳瀬の石風呂は洞窟タイプだ。



▲柳瀬の石風呂外観

非常にわかりにくい場所にあるうえ、たどり着くには藪コギが必要。ここには2つの石風呂があったといい、少し斜面を登ったところに跡らしきものがある。



▲柳瀬の石風呂内部

天井は大きな一枚岩になっている。近くにある溜め池の藻を敷いたともいいう。戦前からいまでは近所の人たちが使っていたという。いまはコウモリの巣になっていた。

神山町阿野代次の石風呂

梅の里の一角にあり、看板も立っているの比較的に見つけやすい。江戸時代に徳島藩の姫が女性の下の病を治すため、この地に逗留したという伝説がある。石風呂のおかげで病気が治癒し、姫が逗留した家はほつびとして年貢を免除された。代次には多田姓が多いが、これは年貢をタダにしたからなのだという。



▲代次の石風呂外観

山の斜面にある。洞窟タイプとカマトタイプの折衷型。すぐ近くには湧き水の水場があるので、汗を流すこともできたらう。右手には祠や石仏が祭られていて、神聖な場所である。



▲代次の石風呂内部

内部は円形なので、古墳ではないだろう。古い石風呂で、使い方を覚えていない人は多いよう。壊れているのは、近年になって試しに火を焚いたからだが、うまく入浴できなかったらしい。